

基本文例

会社合併のあいさつ状

作成上の注意事項

格調を重んじる

1 新体制でスタートするにふさわしい品位、格調を重んじたあいさつ状にまとめましょう。

合併の事実・経緯を記す

2 合併する企業名、合併の形態、合併後の法人名、新体制でスタートの日時等を明示します。【参照】基本文例2

合併の理由を記す

3 複数の企業が合併するに至った理由について簡潔に記しましょう。【参照】基本文例3

新会社に寄せる期待を記す

4 新会社に寄せる期待や抱負については、品位を損なわない表現で簡潔に記しましょう。【参照】基本文例4

今後の支援を願う

5 これまでのご支援に対する謝意、今後のご支援を願う気持ちを率直にあらわしましょう。【参照】基本文例5

縦書きにする場合

6 社交・儀礼上の文書は、あらたまった文書であることを印象づけるため、縦書きにするものも多いものです。その場合には「第

1 基本フォーム」を参照してください。

基本文例

1 拜啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

前文

2 さて、このたび〇〇株式会社と〇〇株式会社は対等条件での合併に合意し、平成〇年〇月〇日より〇〇株式会社の新社名で発足することになりました。

3 過去〇年間、あらゆる分野で協力してまいりました両社にとって、合併によるメリットは多大であると判断しての決断です。

主文

4 今後は合併に際し寄せられました各位のご期待に背かぬよう、全社をあげて社業の発展に努力する所存でございます。

5 長年にわたり両社に寄せられましたご支援に対し、心よりお礼申し上げます、何とぞ、これまで以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

6 まずは、略儀ながら書中をもちまして、お知らせかたがたごあいさつ申し上げます。

末文

敬具

平成〇年〇月〇日

7 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇〇〇

後付け

セレクト文書八

一八六ノ五六

選 択 文 例

前 文

- 1** 拝啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ポイント 頭語、時候のあいさつ、安否のあいさつ、業務上のあいさつについては、「第1章 3 文章作りの基本 (1)~(4)」を参照してふさわしいものを選択してください。

主 文

- 2** さて、このたび〇〇株式会社と〇〇株式会社は対等条件での合併に合意し、平成〇年〇月〇日より〇〇株式会社の新社名で発足することになりました。

例 1 さて、今般〇〇株式会社と〇〇株式会社は、完全に対等な条件での合併に合意し、平成〇年〇月〇日をもって発足することになりました。

例 2 さて、このたび〇〇株式会社と〇〇株式会社は対等条件での合併に合意し、平成〇年〇月〇日より〇〇株式会社の社名を存続させて、新体制で臨むことになりましたので、ご案内申し上げます。

例 3 さて、このたび私ども有志は〇〇株式会社との合併を前提に新会社設立の

1 2 3 4 5 6 7

準備を進め、平成〇年〇月〇日より〇〇株式会社として発足することになりました。

ポイント 新設合併の場合の例です。

例 4 さて、このたび当社は〇〇株式会社を吸収して合併し、平成〇年〇月〇日より新体制で発足することになりました。

ポイント 吸収合併してスタートする場合の例です。

例 5 さて、このたび弊社は〇〇株式会社からの要請を受け入れ、同社を吸収合併することとし、平成〇年〇月〇日をもって発足いたします。

ポイント 一方からの要請で合併する場合の例です。

例 6 さて、このたび弊社は100%出資の子会社〇〇株式会社を、平成〇年〇月〇日をもって吸収合併いたしました。

ポイント 子会社を吸収合併した場合の例です。

例 7 さて、当社は平成〇年〇月〇日をもって、いずれも100%出資の子会社である〇〇株式会社と〇〇株式会社を、吸収合併することにいたしました。

ポイント 子会社2社を吸収合併した場合の例です。

3 過去〇年間、あらゆる分野で協力してまいりました両社にとって、合併によるメリットは多大であると判断しての決断です。

例 1 ご存じのように両社は過去、製造と販売という独自の道を歩みながら、相互協力を生かして実績を重ねてまいりました。今回の合併は事業をさらに円滑に運ばせ、多大な成果をもたらすものと確信しております。

セ
レ
ク
ト
文
書
八

一
八
六
ノ
五
八

1 2 **3** 4 5 6 7

例 2 今回の合併はそれぞれの不得意な分野を補強するのがねらいで、必ずや大きな成果が期待できるものと確信して踏み切った次第なのです。

例 3 私どもはこれまで築いてまいりました両社の友好関係が、この合併を機に一気に花を咲かせ、実を結ばせてくれるものと、大きな期待を寄せています。

例 4 企業間の合同、合併に際しては1プラス1は3にも4にもなるケースを数多く見ております。私どももそれらの例にならない、輝かしい成果をもたらしたいと存じます。

例 5 独自のシェアを擁します両社の合併は、必ずや大きな成果をもたらし、業界にも新風をもたらすものと確信しております。

例 6 今回の合併によってグループの一体化はさらに推進され、ユーザーに直結した満足度の高いサービスを提供できるものと確信しております。

例 7 この合併はグループの結束力をさらに高め、運営の効率化によるメリットは、計り知れないものがあるかと存じます。

4 今後は合併に際し寄せられました各位のご期待に背かぬよう、全社をあげて社業の発展に努力する所存でございます。

例 1 そのためには、一に努力、二に努力、「努力」の二字を常に念頭に、社員一同、心を新たにして高い目標にチャレンジしてまいります。

例 2 皆様から寄せられました大きな期待に、決して背かないよう、全社一丸となって努力、精進する覚悟です。

1 2 3 **4** **5** 6 7

例 3 皆様のご期待に必ず沿いますよう、社員一同、全力をあげて社業に励む所存です。

例 4 しかしながら諸般の情勢は厳しく、決して楽観は許されませんが、皆様のご期待に背かぬよう頑張りたいと存じます。

例 5 これを機に社員一同、初心に返って社業に精励し、さらなる飛躍を目指す所存です。

例 6 つきましてはこれを機に、より高く広い視点から現実を直視し、社業の一層の発展、拡大を心掛ける所存です。

例 7 つきましてはこれを機に、社会に対する貢献度も念頭に置き、皆様から寄せられた熱いご期待に応えられるよう大きく羽ばたいてまいりたいと存じます。

セ
レ
ク
ト
文
書
八

5 長年にわたり両社に寄せられましたご支援に対し、心よりお礼申し上げ、何とぞ、これまで以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

例 1 両社に寄せられましたご厚情に対し、心よりお礼申し上げ、何とぞ、従来にも増してご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ポイント 相変らぬご愛顧を願う気持を表します。「第1章 3 (6) ご愛顧のお願い」を参照してふさわしいものを選択してください。

例 2 何とぞ、両社合併後も倍旧のお引立てとご指導を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

一
八
六
ノ
六
〇

1 2 3 4 **5** **6** 7

例 3 私どもに賜りましたご厚情に対し、心よりお礼申し上げ、これまで以上のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

例 4 新会社の発足にあたり、何とぞ、従来にも増してのお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

例 5 新会社の発足に際し、事情ご賢察賜りまして、旧に倍するご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

末 文

6 まずは、略儀ながら書中をもちまして、お知らせかたがたごあいさつ申し上げます。

例 1 まずは、合併のごあいさつかたがたご報告させていただきます。

例 2 まずは、取り急ぎ書中〔書面／寸書〕にてごあいさつ申し上げます。

例 3 まずは、はなはだ失礼ではございますが、書中をもってごあいさつ申し上げます。

例 4 まずは、取り急ぎごあいさつまで。

1 2 3 4 5 6 **7**

後付け

7

〇〇株式会社

代表取締役 〇〇〇〇

例 1

〇〇株式会社

代表取締役 〇〇〇〇

記

新会社名 〇〇株式会社

業務開始日 平成〇年〇月〇日

所在地 〒〇〇〇—〇〇〇〇

大阪市〇〇区〇〇1丁目2番3号

電話番号 (〇〇) 〇〇〇〇—〇〇〇〇 (代表)

*所在地、電話番号は、旧〇〇株式会社のものを引き継ぎます。

ポイント 新会社の所在地などを別記として記載する場合の例です。

セレクト文書八

一八六ノ六〇ノ二